

世界中の最先端医療・研究機関の情報を活用した「子ども難病ナビ」が子供達の命を救う

小児外科の分野では高度医療が発達し救える命も多くなってきたが、いまだに特殊な治療法が多く、適した治療法や医療機関の調査は時間・労力・費用がかかるうえに、最終的に必要な情報にたどりつけないケースも多い。同社の「子ども難病ナビ」は、医師を中心とした依頼者が必要とする情報を世界中のトップクラスの医療・研究機関等のデータベースからピンポイントで引き出し提供する国内唯一のシステムである。限界集落の臼杵市佐志生地区から提供するサービスが、難病の子ども達の命を救っている。

所在地 大分県臼杵市佐志生883-1
 電話/FAX 0972-68-3885/0972-68-3003
 URL <https://kodomonavi.co.jp/>
 代表者 取締役会長 木許 心源

設立 2017年
 資本金 9,008万円
 従業員数 9名



「子ども難病ナビ」が提供する豊富な情報で子どもの難病治療に貢献

同社の「子ども難病ナビ」は世界中から収集する膨大な情報量が強みである。これは、トロント大神学部出身の木許会長と親しい欧米の聖職者の協力で世界的研究機関等の未公開情報にアクセスすることで実現。さらに、同社が独自開発したアルゴリズムにより論文の真偽の判定等の情報の提供も行い、医師が最適な治療方法を検討するための材料を提供している。これまでの利用実績2,500件のうち約2,280件が回復に結びついており、個人だけでなく70以上の大学や医療機関にも利用されている。



膨大なデータベース

AIを活用した次世代型ヘルスケアの実現に向けた取組

同社は2019年10月、経済産業省の「異分野連携新事業分野開拓計画」の認定を取得した。具体的には、IT企業、医療機関、大学と連携して、「子ども難病ナビ」のAI化を目指す取組である。実現すれば、文献調査が自動化されて現状の30倍の案件対応が可能となり、年間25,000人以上の子どもを救えるようになる。また、AIの診断チェックにより医療現場のミスを容易に発見できるだけでなく、患者に必要な医療情報や提携すべき医療機関等の検討についても医師をサポートすることが可能となる。



AIを活用した情報検索

社会性の高いサービスで地域社会の活性化に貢献

同社は「限界集落」に立地しているが、ネットを通じて世界中の情報にアクセスすることで社会性の高いビジネスを行い地域社会に元気と勇気を与えている。海と緑に囲まれた自然豊かな職場環境とフレキシブルな働き方の推進により、職員たちの心豊かな生活にも繋がっている。また、2020年7月豪雨の際には避難場所のように設備や衛生環境が不十分な場所での施術について無償で情報提供を行い、救助活動に貢献した。さらに、将来的には患者家族の負担軽減のため個人利用については無料化を目指している。



海と緑に囲まれた立地環境